

項目	内容
名称	アフリカマンゴノキ、オボノ、アポン、ティカナッツ、ブッシュマンゴー、ワイルドマンゴー [英]African Mango、Agbono、Bread Tree、Dica Nut、Irvingia gabonensis [学名]Irvingia gabonensis (Aubry-Lecomte ex O'Rorke) Baill.、Irvingia barteri、Mangifera gabonensis
概要	アフリカマンゴノキは、西アフリカ原産のニガキ科の常緑高木。高さ10~40 mに生長する。果実および種子が用いられる。果実はマンゴーに類似しており、果肉を食する。種子は乾燥させて粉末にしたものをスープの着香や増粘剤として用いる。種子から抽出した油はマーガリンや調理油、石鹼などに加工して利用される。
法規・制度	<b>■食薬区分</b> ・種子：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・セスキテルペン ( $\alpha$ -クルクメン、ジンギベレン)、アルデヒド誘導体 (ドデカナル、9-オクタデセナル)、芳香族カルボン酸 (安息香酸、ケイヒ酸)、脂肪酸 (ミリスチン酸、ラウリン酸、オレイン酸、パルミチン酸、ステアリン酸) (101) を含む。 ・種子には、エラグ酸、モノ、ジ、トリ-O-メチル-エラグ酸、配糖体 ( <a href="#">PMID:22880691</a> ) などを含む。
分析法	・アフリカマンゴノキの種子、種子抽出物をUHPLC / HRMS法で分析した報告がある ( <a href="#">PMID: 22880691</a> )。

## 有効性

ヒ	循環器・	調べた文献の中に見当たらない。
ト	呼吸器	
での 評価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳  
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)  
[\(PMID:24761695\) Acta Gastroenterol Belg. 2014 Mar;77\(1\):75-6.](#)  
(101) 健康・機能性食品の基原植物事典 中央法規  
[\(PMID:22880691\) J Agric Food Chem. 2012 ;60\(35\):8703-9](#)